

令和7年度 文京区立本郷小学校 授業改善推進プラン（外国語）

|           |   |
|-----------|---|
| 身に付けさせたい力 | 高学年   |
|           | <ul style="list-style-type: none"> <li>○外国語の特徴やきまりに関する事項の理解、及び、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能</li> <li>○コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について聞いたり話したりするとともに、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力</li> <li>○外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度</li> </ul> |

|       |   |    |  |    |
|-------|---|----|--|----|
| 児童の実態 | 高学年   |    |  |    |
|       | <table border="1"> <tr> <td>5年</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>○友達のことへの関心が高く、簡単な語句や基本的な表現を用いての友達とのやり取りを楽しんでいる。</li> <li>○チャンツの活動に、意欲的に取り組む様子が見られるが、スムーズな発話や語彙の定着には、つながってない。</li> <li>○日常生活に関する身近で簡単な事柄についての具体的な情報を聞き取ったり、短い話の概要を捉えたりすることには、個人差が大きく見られる。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>6年</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>○基本的な表現を聞き取りできる児童が増えてきた一方、話すことにおいては、自分のことについて全体の前で伝えることに抵抗が出始めてきている児童がいる。</li> <li>○基本的な表現を用いて文を書くことへの意欲の高まりが見られるが、書いたことを読むことのみによって伝える児童が増え、他者に配慮しながら発話する点が弱くなっている。</li> <li>○振り返りを活用しながら学習に関する自己調整を粘り強く行い、どの領域においても力を伸ばしている児童がいる一方、自身の課題に向き合えない児童もいる。</li> </ul> </td> </tr> </table> | 5年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○友達のことへの関心が高く、簡単な語句や基本的な表現を用いての友達とのやり取りを楽しんでいる。</li> <li>○チャンツの活動に、意欲的に取り組む様子が見られるが、スムーズな発話や語彙の定着には、つながってない。</li> <li>○日常生活に関する身近で簡単な事柄についての具体的な情報を聞き取ったり、短い話の概要を捉えたりすることには、個人差が大きく見られる。</li> </ul> | 6年 |
| 5年    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○友達のことへの関心が高く、簡単な語句や基本的な表現を用いての友達とのやり取りを楽しんでいる。</li> <li>○チャンツの活動に、意欲的に取り組む様子が見られるが、スムーズな発話や語彙の定着には、つながってない。</li> <li>○日常生活に関する身近で簡単な事柄についての具体的な情報を聞き取ったり、短い話の概要を捉えたりすることには、個人差が大きく見られる。</li> </ul>  |    |  |    |
| 6年    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○基本的な表現を聞き取りできる児童が増えてきた一方、話すことにおいては、自分のことについて全体の前で伝えることに抵抗が出始めてきている児童がいる。</li> <li>○基本的な表現を用いて文を書くことへの意欲の高まりが見られるが、書いたことを読むことのみによって伝える児童が増え、他者に配慮しながら発話する点が弱くなっている。</li> <li>○振り返りを活用しながら学習に関する自己調整を粘り強く行い、どの領域においても力を伸ばしている児童がいる一方、自身の課題に向き合えない児童もいる。</li> </ul>  |    |  |    |

|              |   |    |  |    |
|--------------|---|----|--|----|
| 授業改善の具体的な手立て | 高学年   |    |  |    |
|              | <table border="1"> <tr> <td>5年</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各単元で扱う語句や表現を十分聞かせる機会を多くもたせ、ゆっくりはっきりと話されれば、簡単な語句や基本的な表現を聞きとることができるようにする。</li> <li>○授業の始めに、既習表現を用いたやり取りの場面を継続して設定することにより、表現の定着を図る。</li> <li>○やり取りの形態にバリエーションをもたせ、様々な児童との関わりの場面をつくる。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>6年</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自身のことだけでなく、自分が調べたことや架空の人物等、第三者を主語としたことを伝える機会をもたせ、抵抗なく伝えらえる場面設定を取り入れる。</li> <li>○ ICT 機器を活用しながら自身のコミュニケーションの様子を振り返らせ、相手意識をもった発話や、コミュニケーションにつなげる。</li> <li>○分かりやすい目標の明示や、振り返りシートの共有を図り、自己調整の方法の習得や、自己の課題の意識付けを行う。</li> </ul> </td> </tr> </table> | 5年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○各単元で扱う語句や表現を十分聞かせる機会を多くもたせ、ゆっくりはっきりと話されれば、簡単な語句や基本的な表現を聞きとることができるようにする。</li> <li>○授業の始めに、既習表現を用いたやり取りの場面を継続して設定することにより、表現の定着を図る。</li> <li>○やり取りの形態にバリエーションをもたせ、様々な児童との関わりの場面をつくる。</li> </ul> | 6年 |
| 5年           | <ul style="list-style-type: none"> <li>○各単元で扱う語句や表現を十分聞かせる機会を多くもたせ、ゆっくりはっきりと話されれば、簡単な語句や基本的な表現を聞きとることができるようにする。</li> <li>○授業の始めに、既習表現を用いたやり取りの場面を継続して設定することにより、表現の定着を図る。</li> <li>○やり取りの形態にバリエーションをもたせ、様々な児童との関わりの場面をつくる。</li> </ul>  |    |  |    |
| 6年           | <ul style="list-style-type: none"> <li>○自身のことだけでなく、自分が調べたことや架空の人物等、第三者を主語としたことを伝える機会をもたせ、抵抗なく伝えらえる場面設定を取り入れる。</li> <li>○ ICT 機器を活用しながら自身のコミュニケーションの様子を振り返らせ、相手意識をもった発話や、コミュニケーションにつなげる。</li> <li>○分かりやすい目標の明示や、振り返りシートの共有を図り、自己調整の方法の習得や、自己の課題の意識付けを行う。</li> </ul>  |    |  |    |

|                         |        | 高学年   |
|-------------------------|--------|---|
| 成果<br>(○)<br>と課題<br>(●) | 5<br>年 | <p>○各単元で扱う語句、表現に十分慣れる機会を多くもたせたことにより、正しい音を聞いて、大まかな内容を捉える力、聞く力の高まりが見られた。</p> <p>○自分や相手のことについて、身の回りの物を表す語や表現に慣れ、友達とスムーズなやり取りをする素地が整ってきた。</p> <p>●話すことに関しては、依然、個人差が大きく見られるので、基本的な表現の習得の際に、バリエーションをもたせ発話する機会を多くつくる。</p>  |
|                         | 6<br>年 | <p>○自分の伝えたいことを、単元で扱った語句や表現を用いながら、よく整理して話すことができる児童が増えてきた。</p> <p>○発表の形態、場の工夫、ICT 機器による振り返りの活用により、相手意識をもち、より分かりやすく、工夫して伝えようとする児童が増え、コミュニケーションの基本的な力が伸びてきた。</p> <p>●自己調整しながら学習に臨む姿勢には、個人差が大きく見られた。自己の課題をより意識させるため、自身のめあてやめあてに対する振り返りを言語化して表すことに関して、指導を重ねる。</p> |